

# グリーンスローモビリティ 地域推進事業



《公募説明会》

松戸市 福祉長寿部  
(高齢者支援課)

# 事業説明

区分	内容
1) 地域導入	地域の互助で年間を通してグリスロを運行する
2) 実証調査	地域の互助で4週間グリスロの実証調査を行う
3) 民間協力	市と地域が推進するグリスロへ支援する

グリーンスローモビリティは、地域の互助の活動で小さな移動で社会参加が促進され、地域内でのコミュニケーションが活性化されるとともに住環境の向上に寄与できると考えております。

- ①運営実施主体は松戸市内で活動する町会・自治会等
- ②走行地域は松戸市内（導入地域内）を原則

# 1) グリantroを地域に導入するに際して

## グリーンスローモビリティの導入と活用 の 手引き (別冊)

### 【抜粋】

3. 導入の必要性を考えましょう (p 7)
  - 3.1 導入に向いている場面
  - 3.2 導入の必要性・実現性を考えましょう
4. 事業内容を考えましょう (p 15)
  - 4.1 サービス内容の決め方
  - 4.2 必要となる設備
  - 4.3 安全対策
  - 4.4 関係者と調整しながら進めましょう
5. 運営体制 (p 22)
  - 5.2 更なる活用場面の拡張
6. 地域での一体的実施 (p 26)
  - 6.1 地域内の周知
  - 6.2 利用者の確保
  - 6.3 運転者の確保

※アンケート調査への協力

## グリーンスローモビリティ地域推進事業 同意確認事項 (別紙)

### 【抜粋】

- 第1節 総則  
(事業実施主体)  
(事業実施・貸与期間)  
(費用負担等)
- 第2節 車両及び運転者管理  
(車両)  
(車両の管理)  
(車両の運行)  
(車両の運転者等)
- 第3節 利用
- 第4節 地域の協力
- 第5節 市の役割

登録・許可不要の地域の互助で行う事業 (無料・無償)

## 2) 地域導入

### 《車両》

貸与車両：次のいずれか1台を選択

- ①タジマ製nao-6j (8人乗)
- ② " nao-8j (10人乗)
- ③ヤマハ製AR-07 (7人乗)

### 《応募要件》

- 1) 地域：町会・自治会等（単一・複数でも可）※地域の理解が必要不可欠
- 2) 導入時期：実証調査を実施し、車両を手配してからの地域導入。
- 3) 期間：1年間（更新可）
- 4) 運行時間・本数：平日（午前1便・午後1便）※その他は協議
- 5) 走行ルート：原則導入地域内（市と協議、警察への相談、交通事業者との整合、）  
※一般交通への影響、交通事故状況、既存の公共交通との協調・補完を考慮。
- 6) 運転手：地域で確保（普通自動車免許保持者、市主催運転講習会への受講が必須）
- 7) 運転手補助員：地域で確保（市主催運転講習会への受講が必須）
- 8) 利用者：地域で確保（100名程度を想定）
- 9) 駐車場：地域で確保
- 10) 車両の充電設備：地域で確保
- 11) アンケート調査への協力：利用者・運転手・運転手補助員・地域
- 12) 補助制度：あり（導入費10万円（初年度）、運営費4万円（毎月））
- 13) グリantro車両の補完措置：超小型モビリティの実証調査への協力  
※さらに、よりきめ細やかな小さな移動を行うことで、地域内で個々の利用者のニーズに対応することができないか、新たに検証したいと考えています。
- 14) 費用負担：①地域の負担（駐車場代、電気料）  
②市の負担（任意保険料、破損等の不具合が生じた場合（地域の責めに帰すべき事由によるものを除く）の修繕・補修等に要する費用）

### 《応募様式》

別紙 1

## 2) 地域導入の流れ

### 《応募の流れ》

- 1) 実証調査を実施し、4週間のグリスロ運営を経験する（詳細は、26ページに記載）
- 2) 事前ヒアリング：応募申込の前に事前相談（進め方など）
- 3) 事前確認：応募様式の事前確認（事務局編成・ルート図など）
- 4) 応募様式の提出

### 《応募方法》

高齢者支援課に地域導入に関する応募様式を直接提出

### 《応募期間》

令和5年7月3日（月）～ 令和5年12月28日（水）

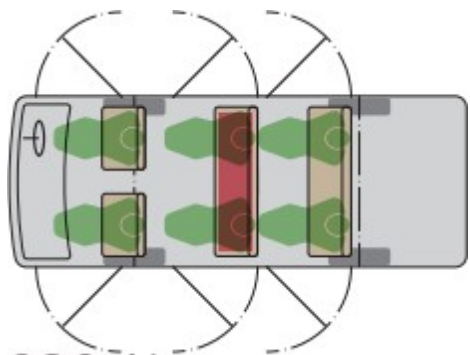
### 《選考方法》

実証調査の結果、運行体制、運転手や利用者の人数等、地域特性を考慮し、アドバイザーと協議し導入地域を決定。 ※令和5年度は3台予定

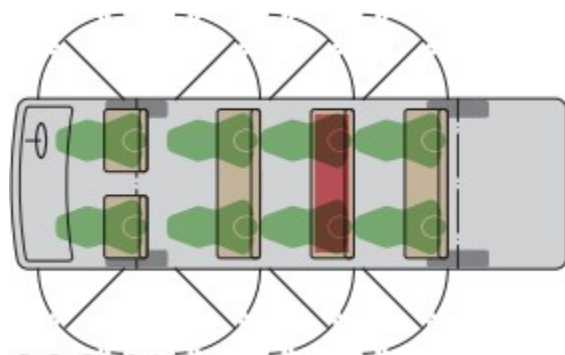
### 《決定後》

- 1) 車両の決定（車両の発注、車両の貸与契約を締結）
- 2) 運行体制等の詳細確認（責任者、車庫、充電場所等）
- 3) 関係機関との連絡調整（運輸支局・警察署・公共交通機関等）
- 4) 地域環境整備（地域への周知、看板等の設置）
- 5) 協力企業・事業者等との調整

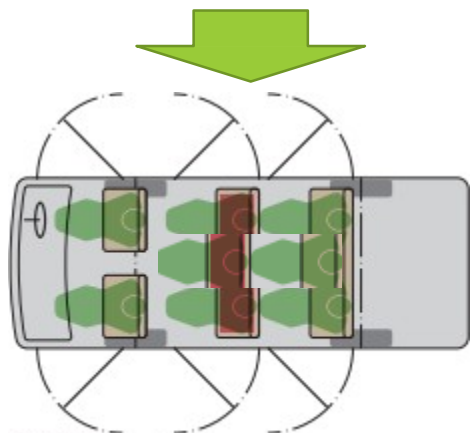
# 2) 使用予定車両①②



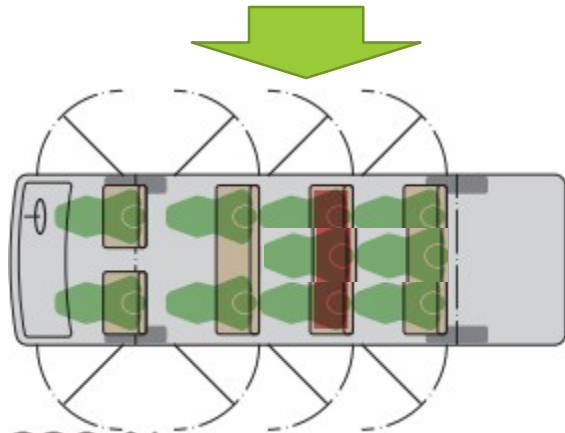
nao-6J  
6人乗 (2・2・2)



nao-8J  
8人乗 (2・2・2・2)



nao-6J  
8人乗 (2・3・3)

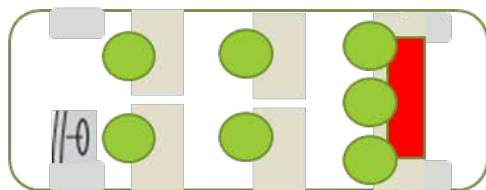


nao-8J  
10人乗 (2・2・3・3)

メーカー	タジマ	
型式	NAO-6J	NAO-8J
全長(mm)	4,050	4,900
全幅(mm)	1,500	
全高(mm)	2,230	
最低地上高(mm)	130	
車両重量(kg)	1,170	1,370
最小回転半径 (m)	3.6	5.4
乗車定員	6(8)	8(10)
登降坂性能	15°	
駆動方式	ACモータ	
バッテリー	鉛バッテリー (リチウムに変更可)	
充電方式	AC100or200	
充電時間	7~10時間	
タイヤサイズ	155R12	
運転席	右	
ステアリング	電動パワステ	
一充電走行距離	80km	
装備	外気導入型エアコン	
ドア	ヒンジドア×6	ヒンジドア×8

(標準)  
スピードメーター、バックモニター

## 2) 使用予定車両③



メーカー	ヤマハ
型式	AR-07
全長(mm)	3,960(ロッキー-3,995)
全幅(mm)	1,355
全高(mm)	1,840
最低地上高(mm)	115
車両重量(kg)	585
最小回転半径 (m)	4.5
乗車定員	7
登降坂性能	20°
駆動方式	DCモーター
バッテリー	リチウムイオン電池
充電方式	単相200V
タイヤサイズ	190/50-12
運転席	左
ステアリング	ラップ&ピニオン式
走行距離	50
装備	-
ドア	-

## 2) 使用予定車両 (比較)

メーカー	ヤマハ	タジマ	
型式	AR-07	NAO-6J	NAO-8J
全長(mm)	3,960	9cm 4,050	94cm 4,900
全幅(mm)	1,330	17cm 1,500	
全高(mm)	1,840	39cm 2,230	
最低地上高(mm)	115	1.5cm 130	
車両重量(kg)	550	1,170	1,370
最小回転半径 (m)	4.5	3.6	5.4
乗車定員	7	6(8)	8(10)
登降坂性能	20°	15°	
駆動方式	DCモーター	ACモーター	
バッテリー	リチウムイオンポリマー電池74.6V×74Ah	鉛バッテリー (リチウムに変更可)	
充電方式	AC200V	AC100or200	
充電時間	約5時間	7~10時間	
タイヤサイズ	195/50R12 4PR	155R12	
運転席	左	右	
ステアリング	ラック・ピニオン式	電動パワステ	
一充電走行距離	50km	80km	
装備	-	外気導入型エアコン	
ドア	-	ヒンジドア×6	ヒンジドア×8
その他		ハザードランプ (非常点滅表示灯) バックモニター 緊急停止ボタン	



# 3) 実証調査

## 《車両》

貸与車両：タジマ製nao-6j（8人乗）※前掲参照

## 《応募要件》

- 1) 地域：町会・自治会（単一・複数でも可）
- 2) 実証時期：応募申込後、令和5年10月頃から順次実施予定
- 3) 期間：4週間程度
- 4) 運行時間・本数：平日（午前1便・午後1便）
- 5) 走行ルート：原則導入地域内（市と協議、警察への相談、交通事業者との整合、）  
※一般交通への影響、交通事故状況、既存の公共交通との協調・補完を考慮。
- 6) 運転手：地域で確保（5名程度：普通自動車免許保持者、市主催運転講習会への受講が必須）
- 7) 運転手補助員：地域で確保（5名程度：市主催運転講習会への受講が必須）
- 8) 利用者：地域で確保（50名以上を想定）
- 9) 駐車場：地域で確保
- 10) 車両の充電設備：地域で確保
- 11) アンケート調査への協力：利用者・運転手・運転手補助員・地域
- 12) 補助制度：なし
- 13) 費用負担：①地域の負担（駐車場代、電気料）  
②市の負担（任意保険料、破損等の不具合が生じた場合（地域の責めに帰すべき事由によるものを除く）の修繕・補修等に要する費用）

## 《応募様式》

別紙2

# 3) 実証調査の流れ

## 《応募の流れ》

- 1) 事前ヒアリング：応募申込の前に事前相談（進め方など）
- 2) 事前確認：応募様式の事前確認（事務局編成・ルート図など）
- 3) 応募様式の提出

## 《応募方法》

高齢者支援課に実証調査に関する応募様式を直接提出

## 《応募期間》

令和5年7月3日（月）～令和5年12月28日（水）

## 《選考方法》

運行体制、運転手や利用者の人数等、地域特性を考慮し、実証調査の地域を決定。

## 《決定後》

- 1) 車両の決定（車両の貸与契約を締結）
- 2) 運行体制等の詳細確認（責任者、車庫、充電場所等）
- 3) 関係機関との連絡調整（運輸支局・警察署・公共交通機関等）
- 4) 地域環境整備（地域への周知、看板等の設置）
- 5) 協力企業・事業者等との調整

# 車両等に関する共通事項

# その他事項

## 《車両貸与》

貸与契約の締結

## 《任意保険》

◆市が加入済

- ①運転者年齢：問わず
- ②対人・対物賠償：無制限
- ③人身傷害：5千万円
- ④車両保険：あり
- ⑤免責あり

## 《地域負担》

- ①任意保険の適用を受けない損害
- ②車両に破損等の不具合が生じた場合（地域の責めに帰すべき事由によるもの）の修繕・補修等に要する費用

## 《駐車場所・充電設備》

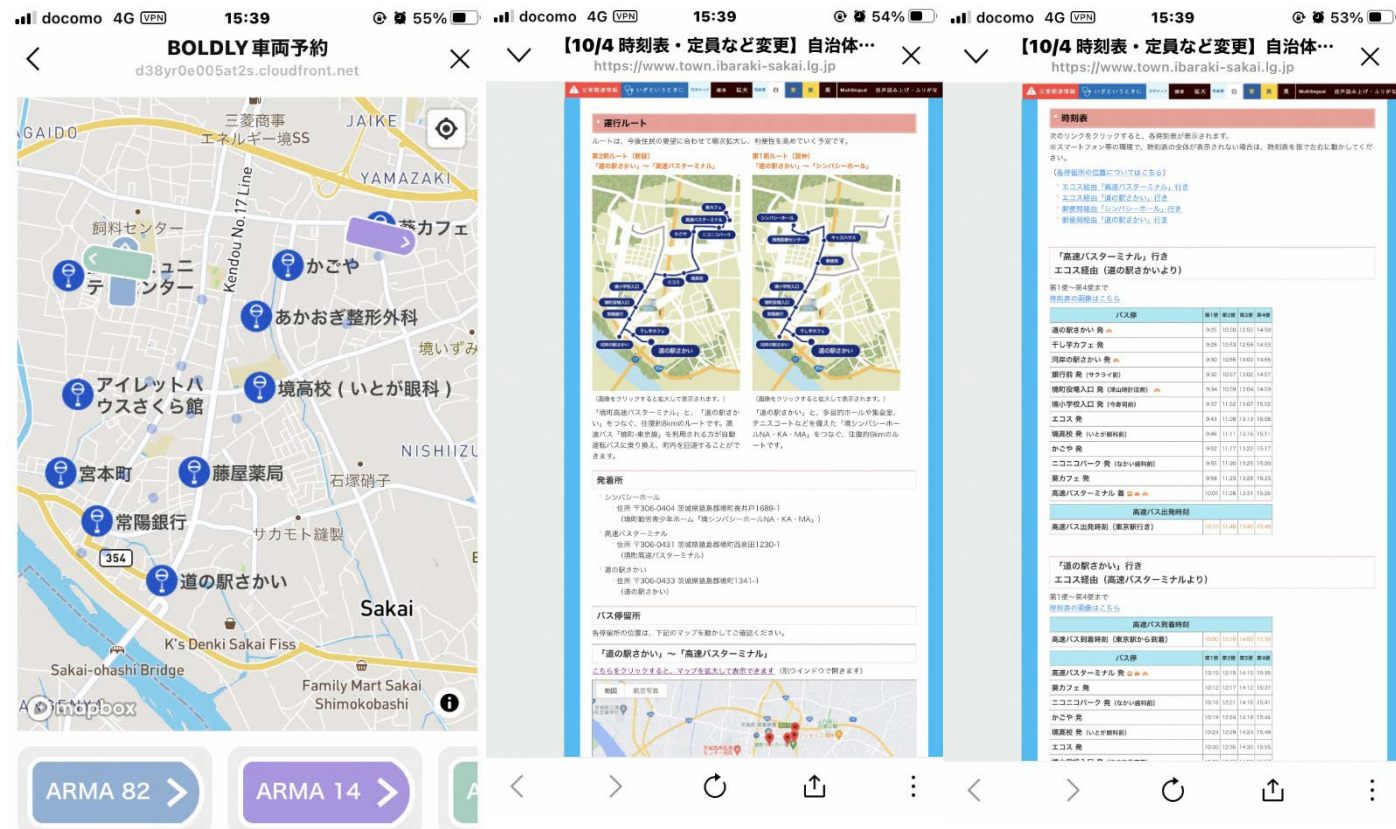
- ①車両の出入りしやすい場所が望ましい
- ②車種により100Vまたは200V

## 《その他附属品》

- ①ドライブレコーダーは標準装備
- ②感染防止対策（空気清浄機）
- ③LINEアプリで車両の位置情報等を提供

## 《地域導入の場合》 ※実証調査は除く

- ①市から補助金を支出する予定なので、運営実施主体は会則を有し、会計の透明性を確保すること
- ②運転手・運転手補助員のうち介護ボランティア制度に登録される方は介護ボランティアポイントが付与される。※手続きは運営実施主体が行う
- ③活動に対する補助金は、予算の範囲で協議する
- ④民間支援による寄附等は運営実施主体が活用できるものとする



## 3) 民間支援

市では、グリーンスローモビリティが、地域の互助の活動で小さな移動で社会参加が促進され、地域内でのコミュニケーションが活性化されるとともに、住環境の向上に寄与できると考えています。

地域でグリーンスローモビリティを安定・継続的に推進していくために、地域のソーシャル・キャピタルの支援は必要不可欠です。

是非、広告、サポーター制度など様々な形でのご支援をお願いいたします。

◆ご支援いただいた方については、車両へのステッカー貼付等の対応いたします。

### 《支援先》

- ①市
- ②地域

### 《支援内容》

- ①金銭の寄附
- ②駐車場や充電の提供
- ③運転手の提供
- ④買い物等の優遇
- ⑤運転手講習会の場所の提供
- ⑥積載車による車両の移送
- ⑦物品等の提供

### 《応募》 応募様式（別紙3）

随時受付

## 《問合せ先》

〒271-8588

松戸市根本387-5

松戸市 福祉長寿部 高齢者支援課

担当：原山・石井・柏木・松本

TEL 047-366-7346

FAX 047-366-0991

E-mail [mcgsm2022@city.matsudo.chiba.jp](mailto:mcgsm2022@city.matsudo.chiba.jp)